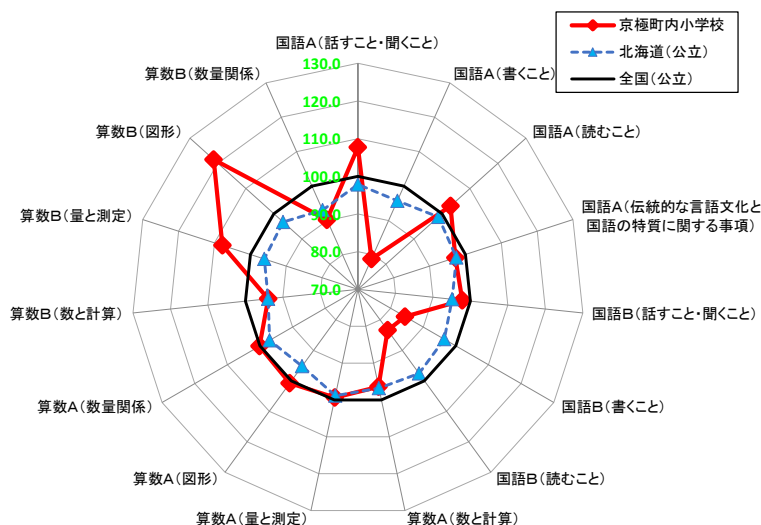


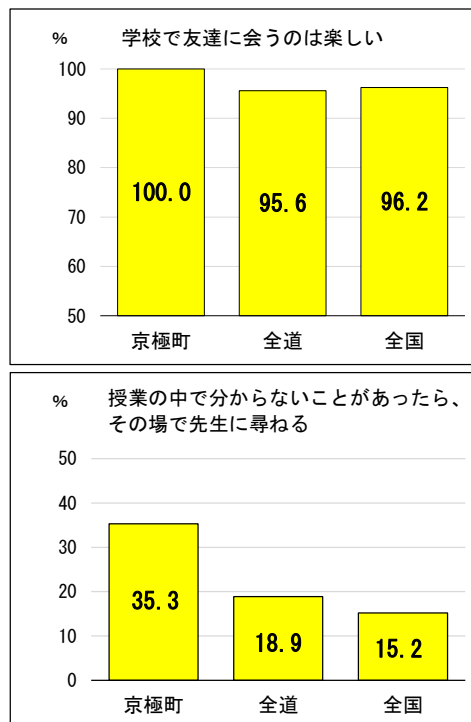
■京極町内小学校の状況及び学力向上策(学校数:2、児童数:34名)

【教科全体の状況】

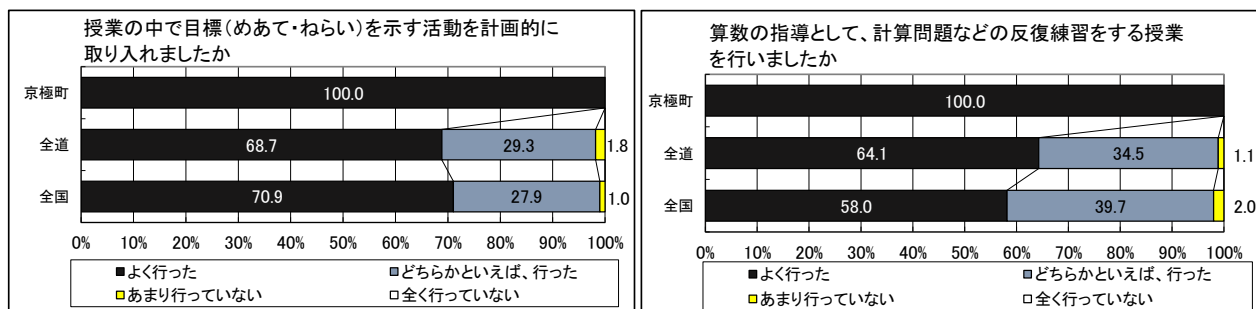
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【児童質問紙】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	○ 国語Aでは、「話すこと・聞くこと」「読むこと」で、全国を上回っている。 ○ 算数Aでは、「図形」「数量関係」、Bでは、「量と測定」「図形」で、全国を上回っている。	○ 授業の中で目標(めあて・ねらい)を示す活動を計画的に取り入れ、家庭学習の与え方について教職員で統一した取組を進めたりした結果、基礎的・基本的な内容の定着が図られ、国語A、算数Aの一部の領域で全国を上回ったと考えられる。
児童質問紙	○ 「学校で友達に会うのは楽しい」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。 ○ 「授業の中で分からないことがあったら、その場で先生に尋ねる」と回答した児童の割合が、全国及び全道を上回っている。	○ T・T指導の充実や反復練習をする授業をよく行った結果、算数のA・Bの一部の領域で、全国を上回ったと考えられる。
学校質問紙	○ すべての学校が、「授業の中で目標(めあて・ねらい)を示す活動を計画的に取り入れた」と回答している。 ○ すべての学校が、「算数の指導として、計算問題などの反復練習をする授業をよく行った」と回答している。	

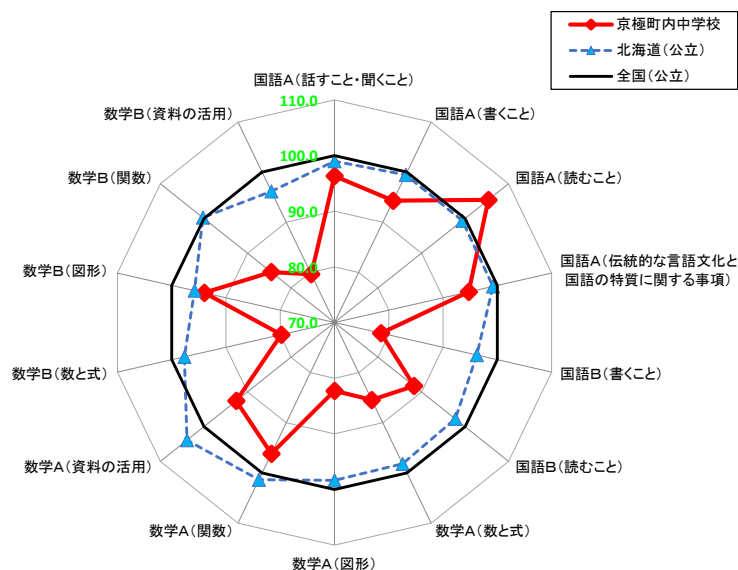
【京極町の学力向上策】

- ◎ 京極町内小・中学校3校が「共通・一貫・徹底・継続」して取り組む「学習規律」の指導の充実
- ◎ 家庭学習の手引「きょうごくのこども」等による家庭学習習慣の定着、生活習慣の改善を図る取組の充実
- ◎ 京極町小中連携協議会の取組による9年間の連続性を重視した授業改善の推進

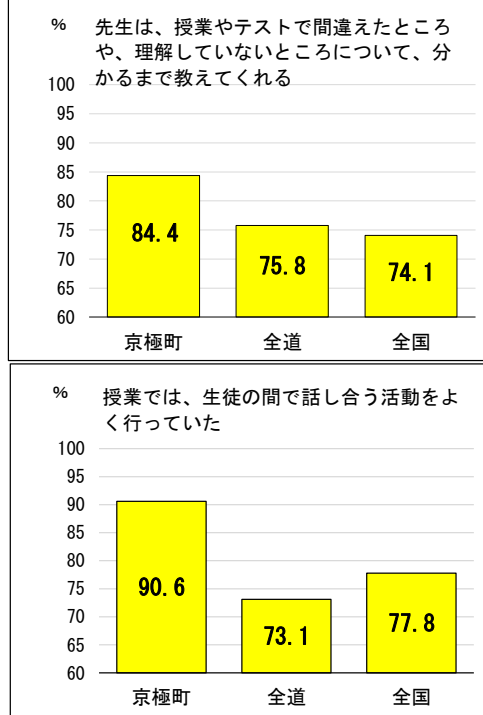
■京極町内中学校の状況及び学力向上策(学校数:1、生徒数:32名)

【教科全体の状況】

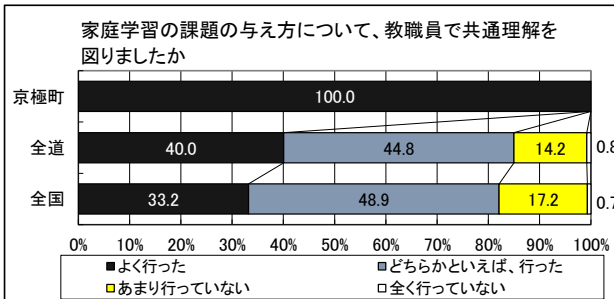
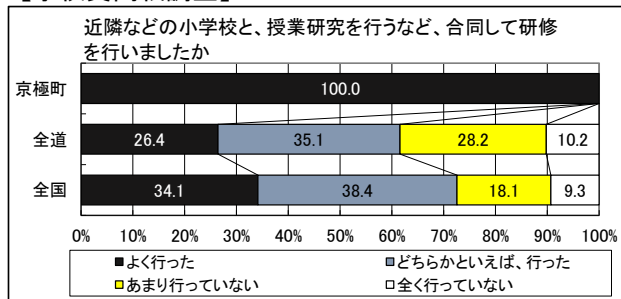
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【生徒質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教 科	○ 国語Aでは、「読むこと」で、全国を上回っている。 ○ 数学Aでは、「関数」、Bでは、「図形」で全国平均に最も近くなっている。	○ 生徒が授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えるなどの取組や、生徒の間に話し合う活動を充実させた結果、国語A、一部の領域において、全国及び全道を上回ったと考えられる。
生徒質問紙	○ 「先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれる」と回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「授業では、生徒の間に話し合う活動をよく行っていた」と回答した生徒の割合が、全国を上回っている。	○ 授業の学習過程について、全校が一体となった取組や小・中学校が連携した取組を充実させたことが、学力向上につながっていると考えられる。
学校質問紙	○ 近隣などの小学校と、授業研究を行うなど、合同して研修をよく行った。 ○ 家庭学習の課題の与え方について、教職員で共通理解をよく図った。	

【京極町の学力向上策】

- ◎ 京極町内小・中学校3校が「共通・一貫・徹底・継続」して取り組む「学習規律」の指導の充実
- ◎ 家庭学習の手引「きょうごのこども」等による家庭学習習慣の定着、生活習慣の改善を図る取組の充実
- ◎ 京極町小中連携協議会の取組による9年間の連続性を重視した授業改善の推進